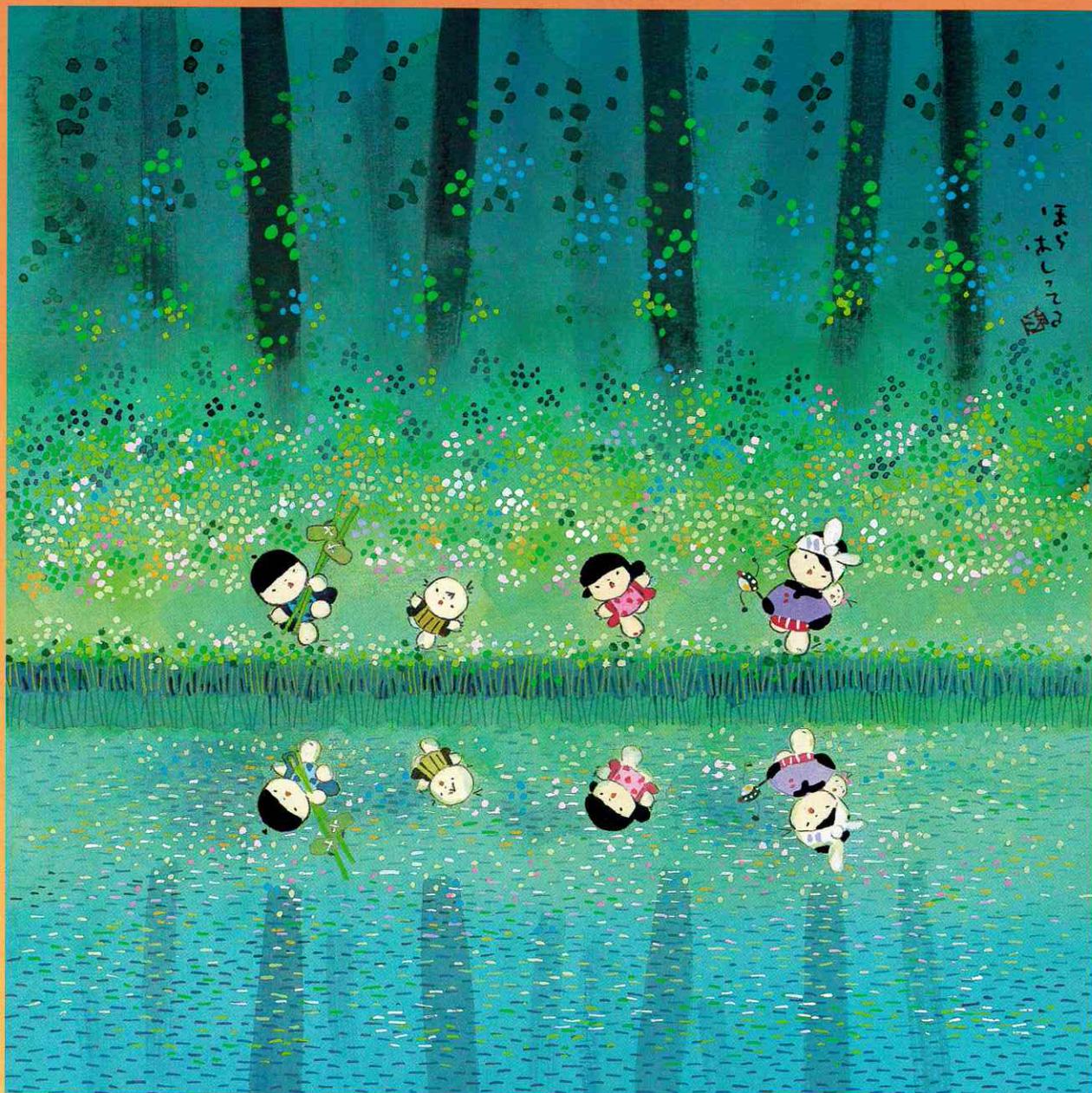


池原昭治

# 童絵の世界展



ほらはしってる

ほらはしってる



図画

- イラスト教室  
10月29日(土) 13:30~16:00  
於 博物館・研修講義室：小学4年生~中学生対象 20名
- 講演会  
11月13日(日)13:30~15:30 於 博物館 研修・講義室 50名
- ものがたり散策  
11月23日(水、祝) 9:30~12:00 於 広瀬地区 30名  
ほか、池原昭治氏による展示解説、屏風絵作成などを随時予定しております。

各イベントは予約が必要です。詳細はお問合せください。

平成17年

## 10月8日(土)~12月18日(日)

休館日 10月11日、17日、24日、28日、31日  
11月4日、7日、15日、21日、24日、25日、28日  
12月5日、12日

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

### 狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 狭山稲荷山公園内  
TEL 04-2955-3804 FAX 04-2955-3811  
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum.htm>



## 開催にあたって

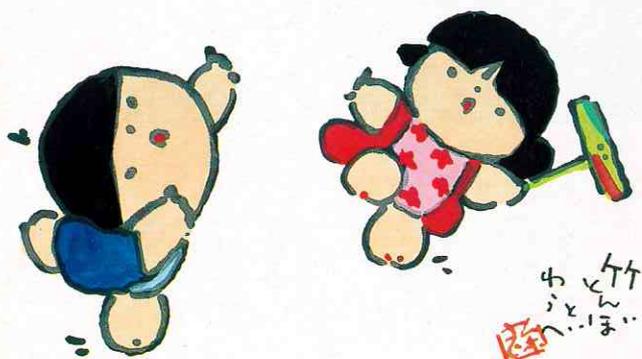
狭山市立博物館では、平成6年度の狭山市所蔵美術品展を皮切りに、栗原霞崖・河鍋暁斎などの個人展や、埼玉県立近代美術館及び川崎市市民ミュージアム所蔵品展など、日本画洋画等ジャンルを問わず独自の美術展を開催し、市民をはじめとする来館者に芸術鑑賞の機会を提供してきたところです。

今回は、狭山市在住の童絵作家池原昭治氏の作品を展示し、氏の愛する狭山の風景を紹介します。狭山市は、都心から40km圏に位置し、近年における都市化の波が急速に押し寄せていますが、まだまだ武蔵野の原風景や、この地に伝わる民話の世界が残っている地域であります。氏の心あたたまる作品の数々をとおして、童絵と呼ばれる独自の画風を多くの方々にご覧いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、作品提供をいただいた池原氏をはじめ、展示にご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます、開催のあいさつといたします。

平成17年10月

狭山市立博物館



# 狭山市立博物館



〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 狭山稲荷山公園内  
TEL 04-2955-3804 FAX 04-2955-3811  
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum.htm>

- 西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
- 西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点徒歩3分
- 圏央道狭山日高インターより車で15分

池原昭治

# 童絵の<sup>どうえ</sup>世界<sup>せかい</sup>展



ほらはしってる

平成17年

10月8日<sup>土</sup>~12月18日<sup>日</sup>

## 狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 狭山稲荷山公園内  
TEL 04-2955-3804 FAX 04-2955-3811  
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum.htm>



## 開催にあたって

狭山市立博物館では、平成6年度の狭山市所蔵美術品展を皮切りに、栗原霞崖・河鍋暁斎などの個人展や、埼玉県立近代美術館及び川崎市市民ミュージアム所蔵品展など、日本画洋画等ジャンルを問わず独自の美術展を開催し、市民をはじめとする来館者に芸術鑑賞の機会を提供してきたところです。

今回は、狭山市在住の童絵作家池原昭治氏の作品を展示し、氏の愛する狭山の風景を紹介します。狭山市は、都心から40km圏に位置し、近年は都市化の波が急速に押し寄せていますが、まだまだ武蔵野の原風景や、この地に伝わる民話の世界が残っている地域であります。氏の心あたたまる作品の数々をとおして、童絵と呼ばれる独自の画風を多くの方々にご覧いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、作品提供をいただいた池原氏をはじめ、展示にご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます、開催のあいさつといたします。

平成17年10月

狭山市立博物館



### 凡例

1. これは、平成17年10月8日(土)から12月18日(日)まで開催する平成17年度秋期企画展『池原昭治 童絵の世界展』のパンフレットです。
2. ここに掲載した作品は、池原昭治氏の最近の作品を中心に、狭山市をはじめとした埼玉県内、出身地である讃岐地方、さらには想いをはせている京都と、主に活動されている地域に題材をとったものです。
3. 紙面に限りがあるため、掲載できなかった作品があり、必ずしも展示内容と一致しません。



## 童絵のこころ

池原昭治

幼いころ遊んだふるさとの山や河は、私のこころの原風景です。

それらを絵に表したものが童絵です。

伝承あそび、鎮守さまのお祭り。

昔話、伝説、わらべ唄の世界を絵に表したものが童絵です。

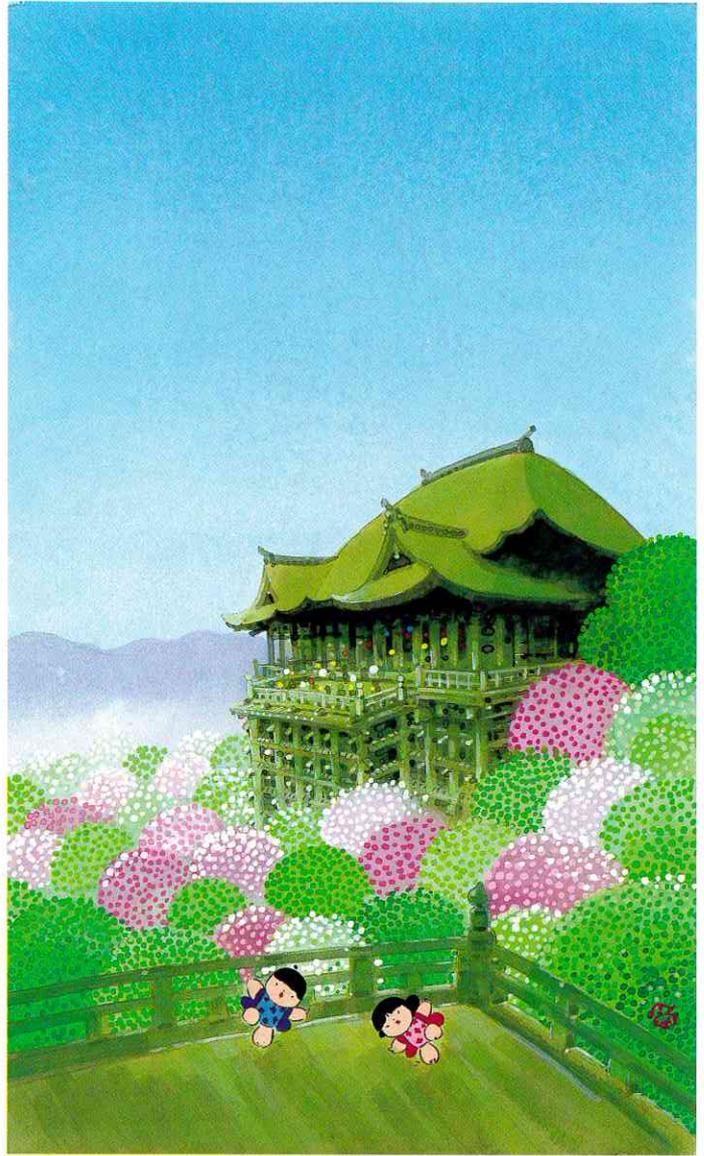
ある峠みちを歩いておりました。うしろの方から四、五才ぐらいの女の子が小走りでやってきて、「ばあちゃん、のんのさま」といって、お地蔵さまの前で、小っちな手を合わせました。そのあとからおばあちゃんもやってきて、腰をかがめ一緒に手を合わせました。その光景は、さわやかでうしろの小高い山々とぴったり合い、それはまさに一幅の絵の世界でした。

その風景を見まして、私はなにか「ホッ」とした気持ちになり、おもわず草むらのうえに寝ころがりました。空にはまっ白な雲がポッカリと浮かび、まわりでは山鳩やシジュウカラの声がかすかに聞こえてきました。

この風景こそが、私の童絵の世界なのです。



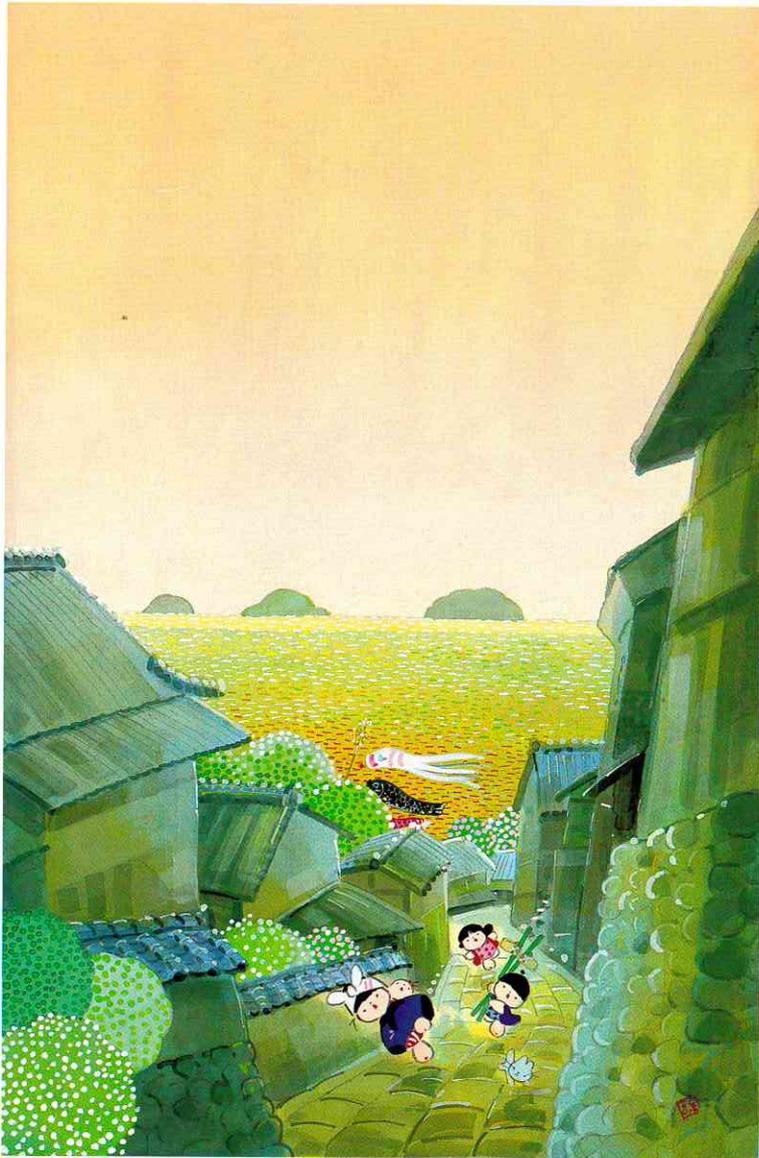
里山の春



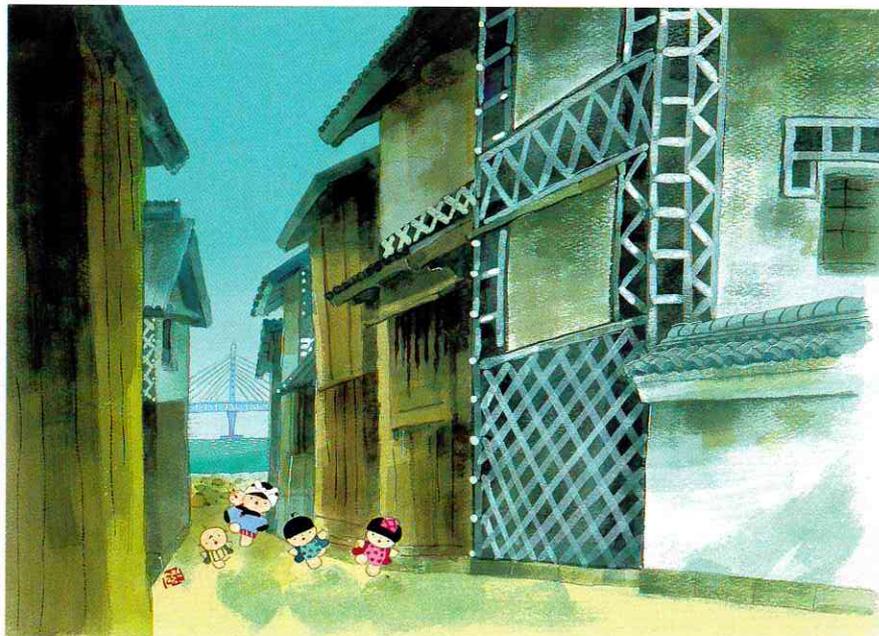
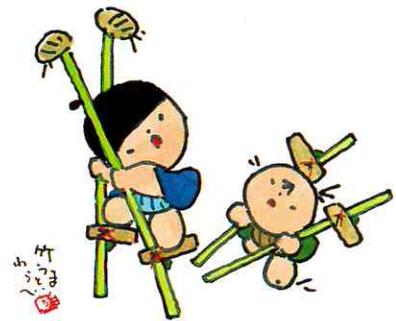
東山・春の清水寺



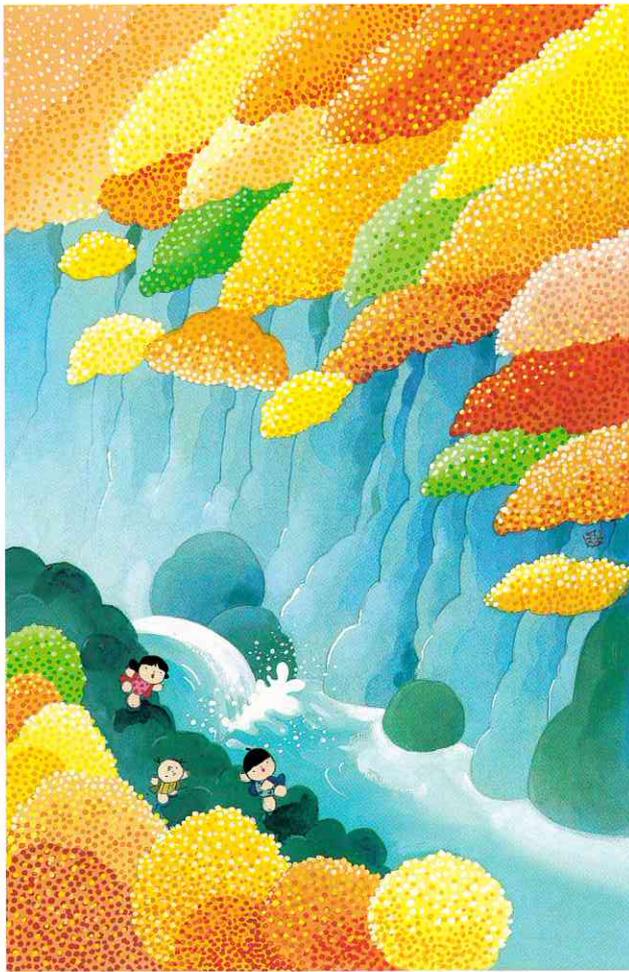
嵯峨野・雨の落柿舎



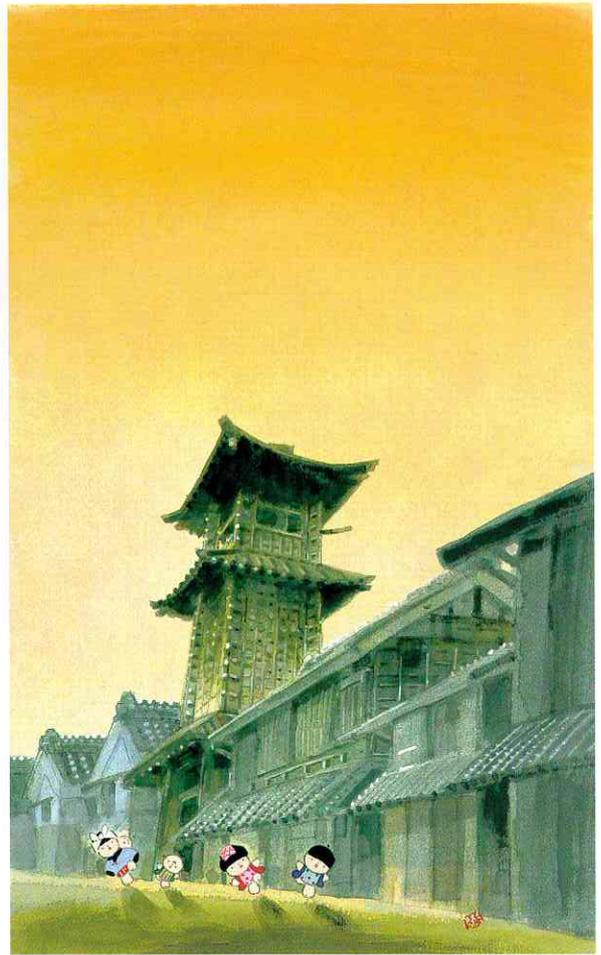
のどかな海とわらべ



本島・笠島より瀬戸大橋



峡谷と紅葉とわらべ



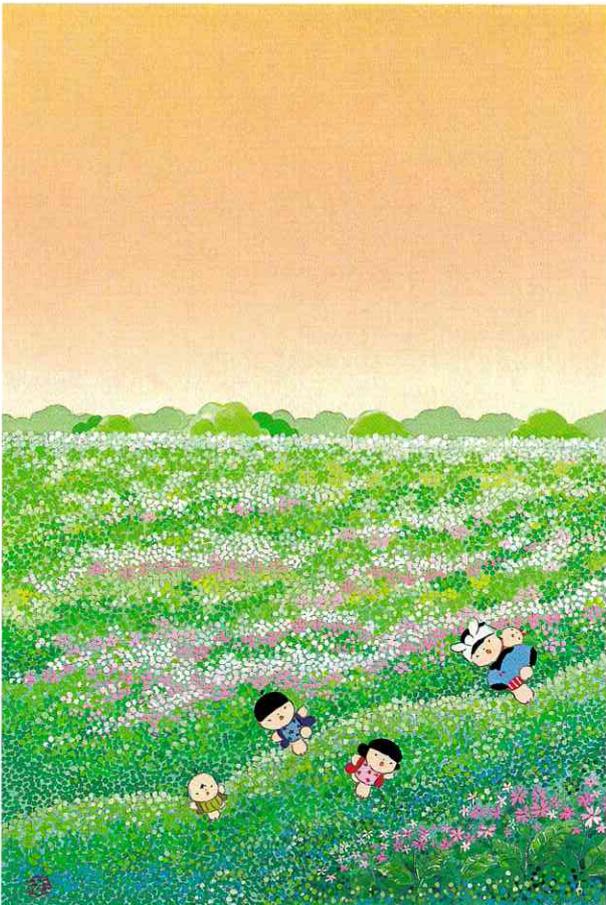
川越・時の鐘



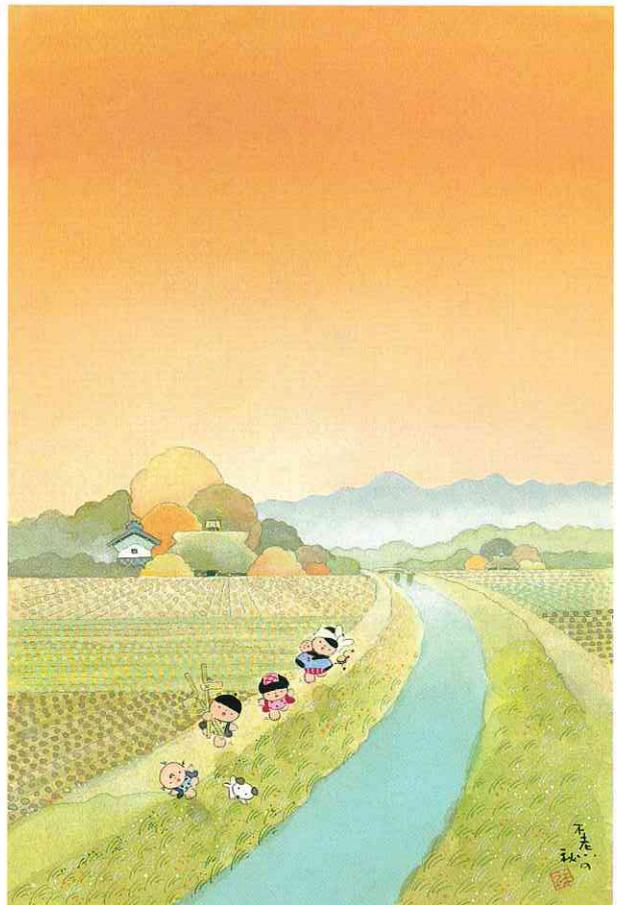
秩父のからなり



夏の雑木林とわらべ



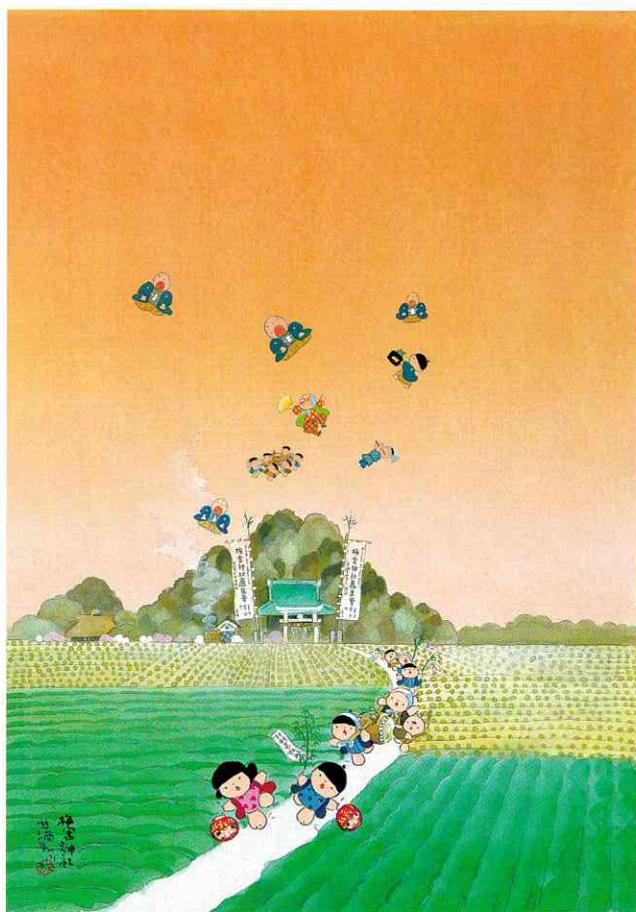
さくら草とわらべ



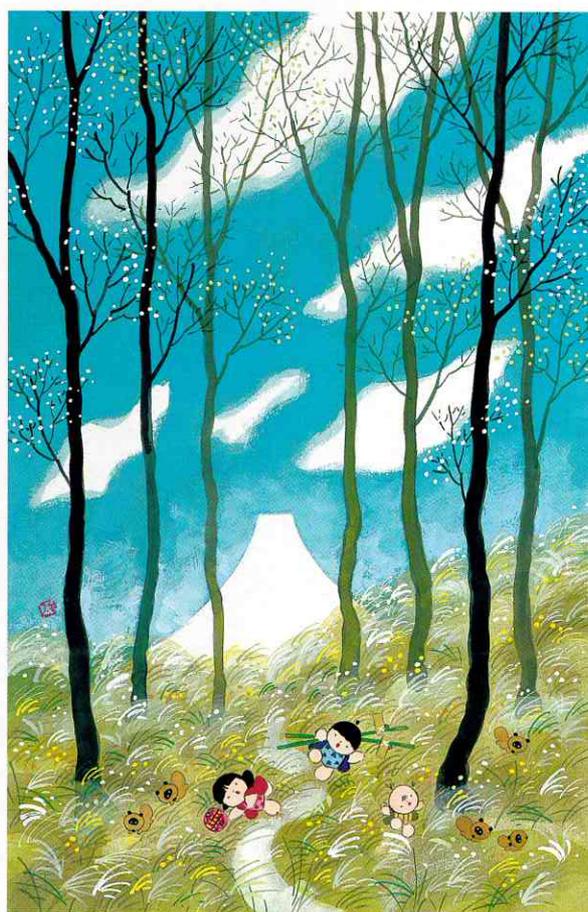
不老川の秋



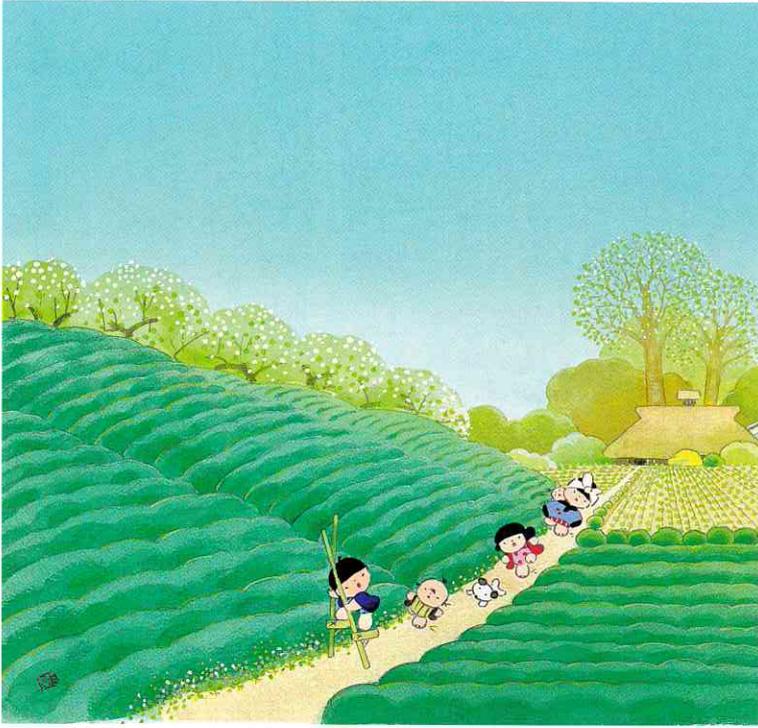
はやくおいで



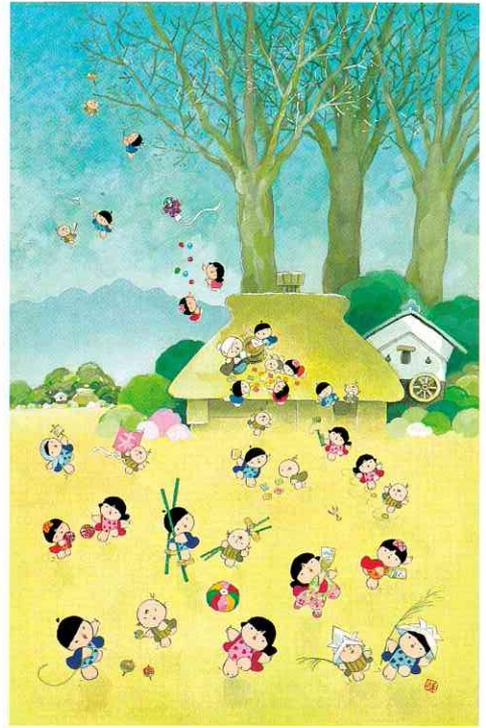
梅宮神社 甘酒まつり



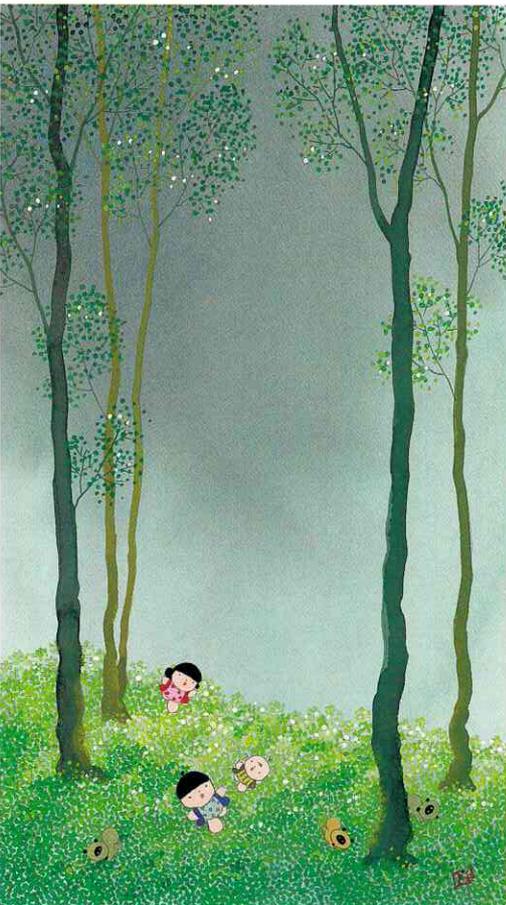
武蔵野の雲とわらべ



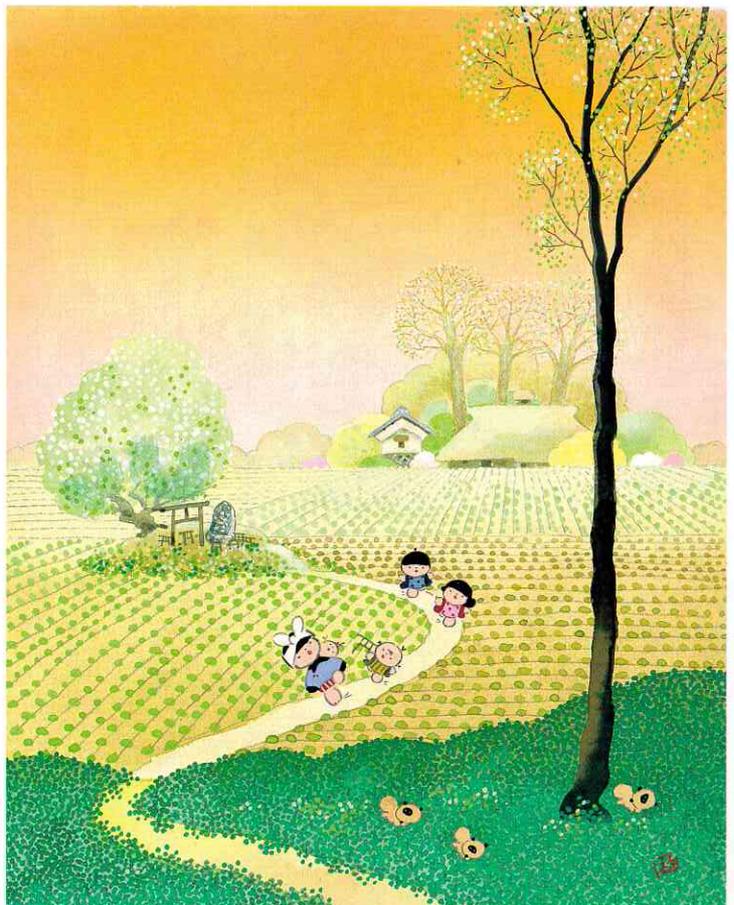
もうすぐ八十八夜



お正月がござった…



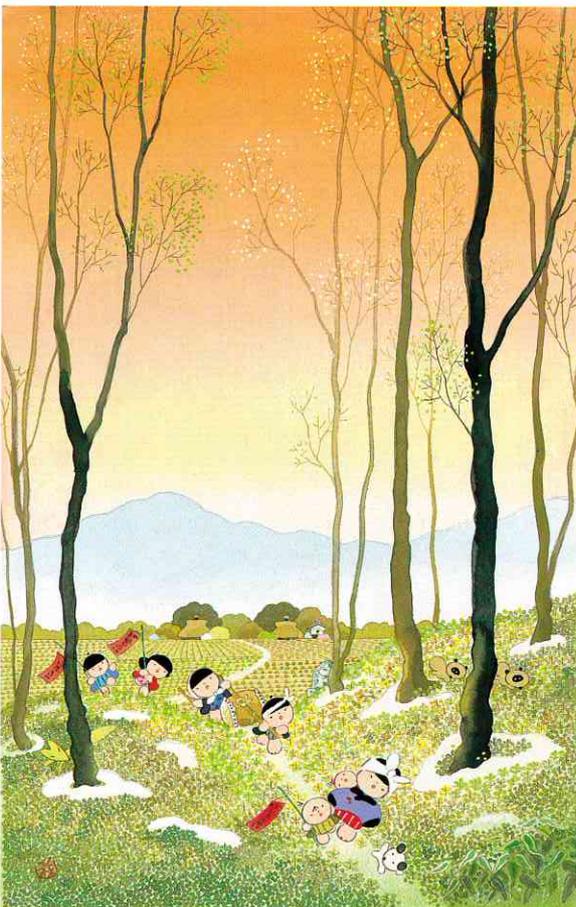
ふってくるよ



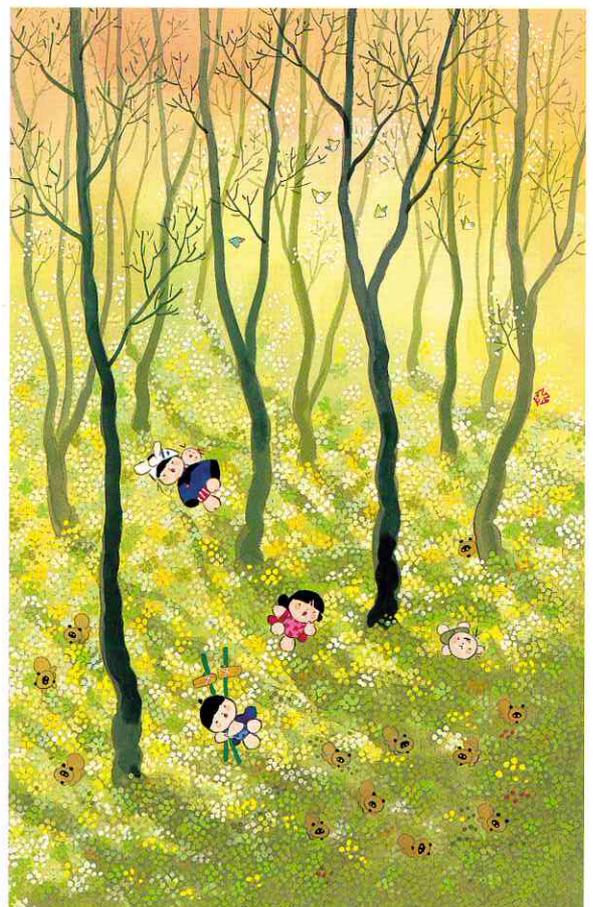
歯いたどめの石仏さま



ひゆる ひゆる ひゆる



初午・村まわりのわらべ



かげふみとわらべ



カサ カサ カサ…



雑木林につづく道



残雪の林



雑木林の秋



山鳥の鳴く林とわらべ



みどりの風



夏の雑木林



八十八夜のころ



林の中の古道

## 池原昭治 (いけはらしょうじ) 略歴

1939年 香川県高松市生まれ 狭山市在住 童絵作家

日本漫画家協会会員 高松短期大学客員教授 狭山市史編さん委員 狭山市文化財保護審議会委員

日本各地の民話を訪ね歩き、「童絵」という独自の画風を確立。観音霊場や祭りに関する、多くの著書がある。また、香川県「子育て心配無用教え隊」、埼玉県川越市「小江戸川越大使」、などの地域活動にも参加している。朝日新聞、上毛新聞、四国新聞ほか雑誌などに童絵や連載漫画を掲載。

1963年 東映動画入社。長編映画を担当

1968年 映画「太陽の王子 ホルスの大冒険」(東映動画)動画担当

1969年 映画「長靴をはいた猫」(東映動画)動画担当

映画「空飛ぶゆうれい船」(東映動画)動画担当

1970年 映画「海底3万マイル」(東映動画)原画担当

1971年 映画「どうぶつ宝島」(東映動画)動画担当

1972年 映画「ながぐつ三銃士」(東映動画)原画担当

1982年 この年より、テレビ「まんが日本昔ばなし」の演出・作画・美術(背景)を担当

「鬼子母神さま」(1982年、演出)「きつねがわらった」(1982年、演出・作画・美術(背景))

「尊仏の雷さま」(1982年、演出・美術(背景))「子好き地藏さま」(1983年、演出・作画・美術(背景))

「ティティコプシ」(1983年、演出・作画・美術(背景))「角のある子馬」(1983年、演出・美術(背景))

「狐塚」(1983年、演出・美術(背景))「オドテさま」(1984年、演出・作画・美術(背景))

「米つぶ三つが黄金三つが」(1984年、演出・美術(背景))「しば栗」(1985年、演出・美術(背景))

1985年 『狭山市史』民俗編 執筆刊行。

1990年 郵政省(現日本郵政公社)ふるさと切手「通りゃんせ」の原画を担当(1990年発行)

1994年 環境庁(現環境省)「環境月間ポスター」製作担当(1994年度発行)

2000年 高松市「花樹海」内に「池原昭治童画館」設立

2004年 川越市「小江戸川越大使」に任命

高松短期大学開学35周年記念「池原昭治童画展」を開催

秩父ふるさと館「ちちぶ巡礼と民話のやかた」にて作品展示

2005年 香川県琴平町百十四銀行琴平支店「池原昭治絵画展 わらべのうた」を開催

三富巡回文化財展実行委員会「三富の絵本 池原昭治作品展」を開催

三芳町立歴史民俗資料館「三富の絵本 池原昭治原画展」を開催





## 主な展示作品一覧

No.	作品名	備考
1	里山の春	○
2	秩父のからなり	○
3	雑木林の秋	○
4	残雪の林	○
5	みどりの風	○
6	八十八夜のころ	○
7	夏の雑木林	○
8	梅宮神社甘酒まつり	狭山○
9	<small>としとらすがわ</small> 不老川の秋	狭山○
10	<small>はつうま</small> 初午・村まわりのわらべ	狭山○
11	武蔵野の雲とわらべ	狭山○
12	もうすぐ八十八夜	狭山○
13	夏の雑木林とわらべ	○
14	はやくおいで	○
15	お正月がござった…	○
16	雑木林につづく道	○
17	ひゆる ひゆる ひゆる	○
18	ふってくるよ	○
19	かげふみとわらべ	○
20	カサ カサ カサ…	○
21	林の中の古道	○
22	歯いたどめの石仏さま <small>いしぼとけ</small>	○
23	山鳥の鳴く林とわらべ	○
24	わらべのお正月	
25	さわさわさやさや	
26	お茶のじかんだよ	

No.	作品名	備考
27	<small>ほんじま かさじま</small> 本島・笠島より瀬戸大橋	讃岐○
28	のどかな海のわらべ	讃岐○
29	きらきらきら	讃岐
30	須田港 <small>たくま</small> (詫間町)	讃岐
31	栗島 <small>かみしんでん</small> ・上新田	讃岐
32	伊砂子 <small>いさご</small>	讃岐
33	浦島太郎伝説の里	讃岐
34	東山・春の清水寺	京都○
35	嵯峨野・雨の落柿舎 <small>らくししゃ</small>	京都○
36	嵯峨野・直指庵 <small>じきしあん</small> とわらべ	京都
37	嵯峨野・秋の落柿舎	京都
38	嵯峨野・野々宮神社と竹林	京都
39	嵯峨野・小倉山と竹林	京都
40	嵯峨野・広沢の池	京都
41	奥嵯峨・紅葉とわらべ	京都
42	鹿苑寺・金閣	京都
43	竹林とかぐや姫とわらべ	京都
44	峡谷と紅葉とわらべ	大滝○
45	さくら草とわらべ	浦和○
46	川越・時の鐘	川越○
47	ほら はしってる	表紙画○
48	だるま市 <small>まち</small> の夢	
49	狭山の伝説(民話)	6点
50	狭山のわらべ歳時記	12点
51	狭山の昔話	4点
52	その他	

- ・ 作品番号と展示順は一致していません。
- ・ 企画展では展示していますが、パンフレットに掲載されていない作品があります。  
○：パンフレットに掲載されている作品